



# 八戸西スマートインターチェンジの整備効果

---

(R2.6.5現在)

平成31年3月23日開通



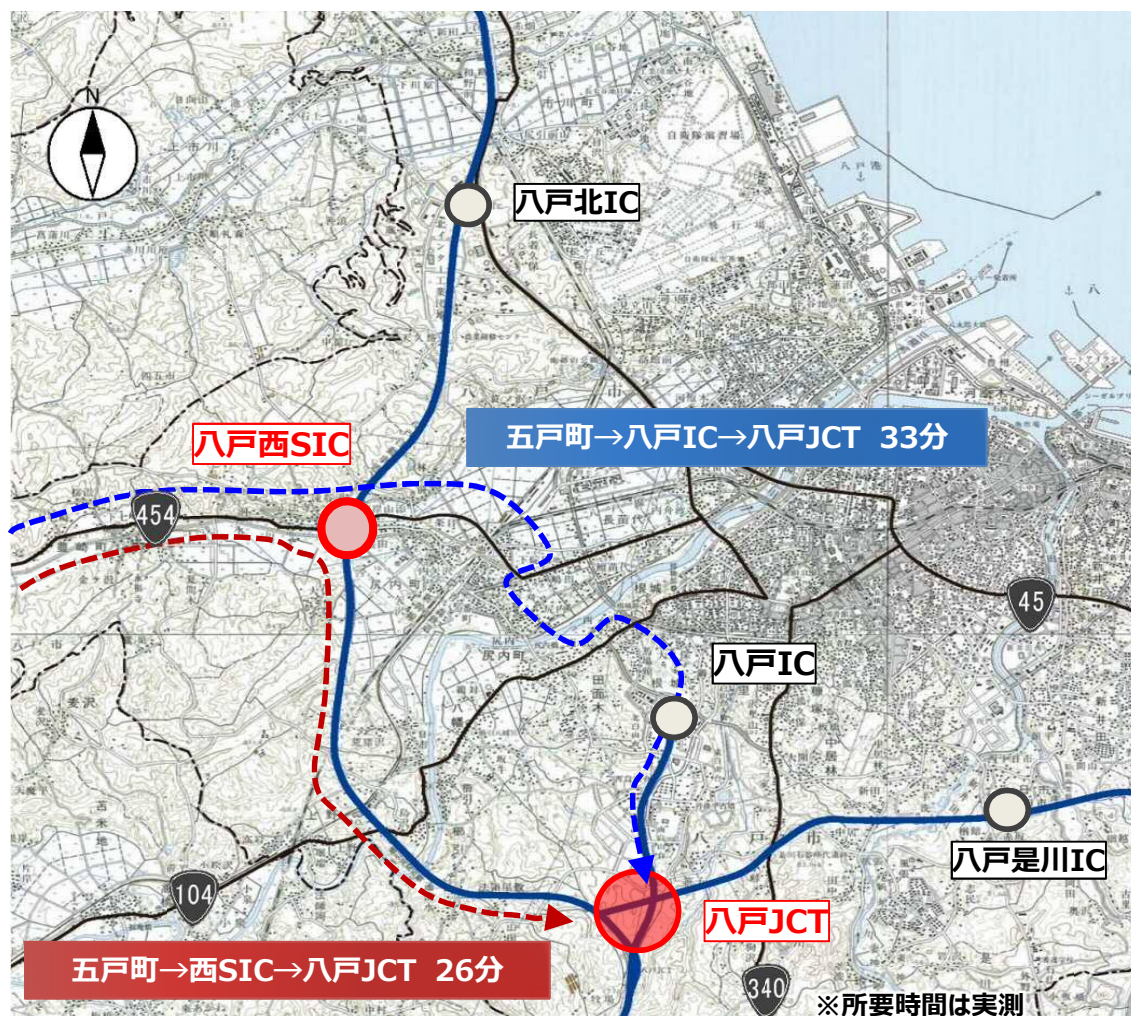
## ▼整備効果について

- |   |              |   |
|---|--------------|---|
| 1 | 高速道路の利便性向上   | 1 |
| 2 | 地域産業、経済活動活性化 | 2 |
| 3 | 広域的な医療体制の充実  | 3 |
| 4 | 防災活動の円滑な実施   | 4 |
| 5 | 観光産業の活性化     | 5 |

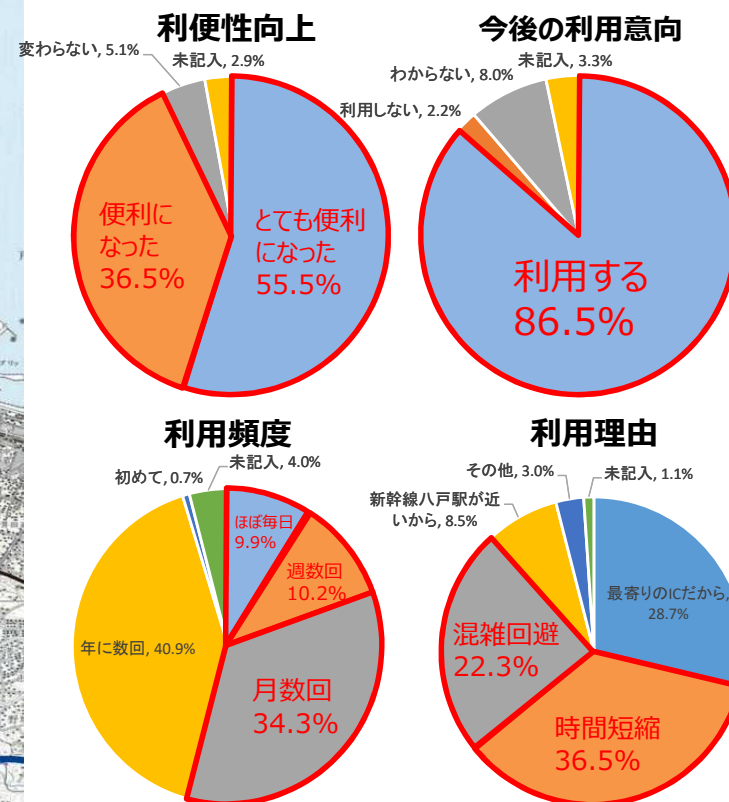
# 整備効果について

## 1 高速道路の利便性向上

- 八戸西スマートICの供用により、高速道路へのアクセス性が向上したエリアが増加し、利便性が向上。
- 利用者アンケート調査の結果、92%が「便利になった」と回答、約87%が「今後も利用する」と回答。
- 利用頻度は約54%が「月数回以上」利用、利用理由は約37%が「時間短縮」、約22%が「混雑回避」。
- 八戸西スマートICの供用により、五戸町中心部から八戸JCTまでの所要時間は、開通前（八戸IC経由）33分から開通後（八戸西スマートIC経由）26分と7分短縮。



### ▼令和元年利用者アンケート集計結果 (n=274)



### ▼利用者アンケート自由記述

- ・是川地区・階上町方面へ気軽に行けるようになり、とても助かっています。(豊崎町地区在住)
- ・八戸駅にアクセスし易くなりました。(おいらせ町在住)



## 2 地域産業、経済活動活性化

- 高速道路へのアクセス性が向上し、八戸西スマートICが活用されることで、物流の効率化や運転手の負担軽減など、企業活動を支援。
- 新しく「八戸北インター第2工業団地」を八戸西スマートICの北部に整備中。八戸西スマートICへのアクセスのしやすさから、企業立地の促進が期待される。
- 隣接する駅西區画整理事業地内に「フラット八戸（多目的アリーナ）」が令和2年4月にオープン。八戸西スマートICがアクセスルートのひとつとされ、イベント主催者や来場者の利便性が向上することで、施設の利用促進及び周辺地域の活性化が期待される。



### ▼R元年ヒアリング調査結果（八戸市実施）

#### ■八戸市内運送業者の声

- ・八戸西SIC周辺は地形が平坦であり、冬期間は八戸ICへの登坂を回避することができるため、安全性向上やドライバーの心理的負担軽減につながります。

#### ■六戸町内運送業者の声

- ・盛岡市や仙台市からの帰り便で八戸西SICを利用しています。
- ・高速道路へアクセスし易くなり、労働時間短縮につながっています。

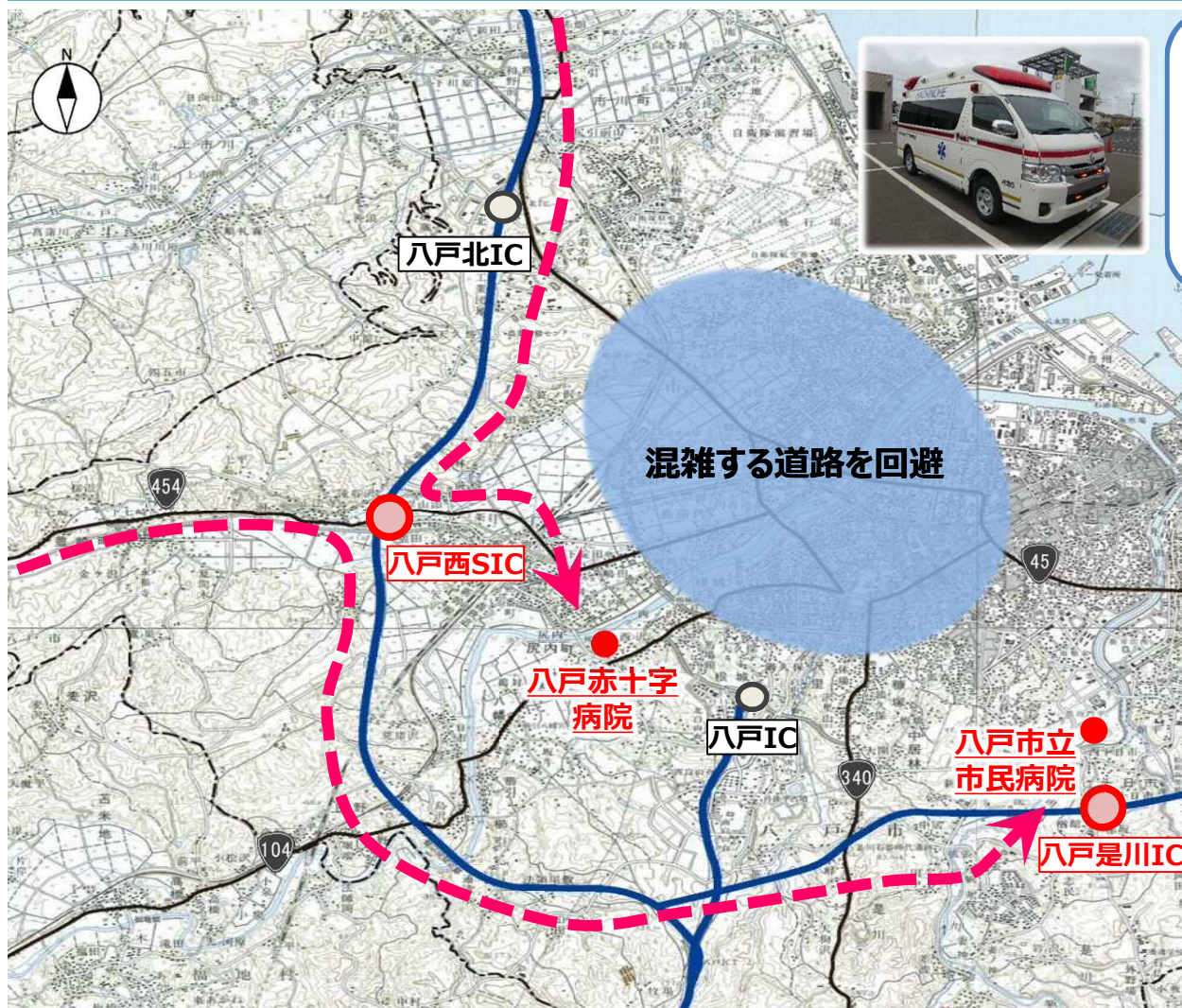
#### ■八戸市内観光バス事業者の声

- ・八戸西SICは、白山台地区から青森方面へ、また、尻内地区や五戸町から東京方面への移動に便利なため、当該地区からの利用が増えました。
- ・結婚式など、時間が決められている利用の際に、所要時間が読みやすいです。



## 3 広域的な医療体制の充実

- 五戸町、おいらせ町、新郷村、八戸市西部地区等から、八戸赤十字病院や八戸市立市民病院等への**患者搬送時間が短縮され、救命救急医療に貢献。**
- 患者への負担軽減や運転時の安全性向上など、**現場の救急隊員も効果を実感。**



### ▼八戸消防本部の声

- ・おいらせ町から八戸赤十字病院へ搬送する際、**一般道より5分ほど時間が短縮されました。**
- ・揺れが少ないため、**傷病者への負担が少なく、安全に搬送**できます。
- ・一般車両が少なく、加減速の必要もないため、ストレスなく走行できます。

### ▼救急搬送時の八戸西SIC利用件数

上長・豊崎地区、五戸町、おいらせ町、新郷村からの救急搬送  
(H31.4月～R2.4月)

|           |       |
|-----------|-------|
| 八戸市立市民病院  | 2 件   |
| 八戸赤十字病院   | 1 4 件 |
| その他（個人病院） | 1 件   |
| 計         | 1 7 件 |

### 【その他の利用実績】

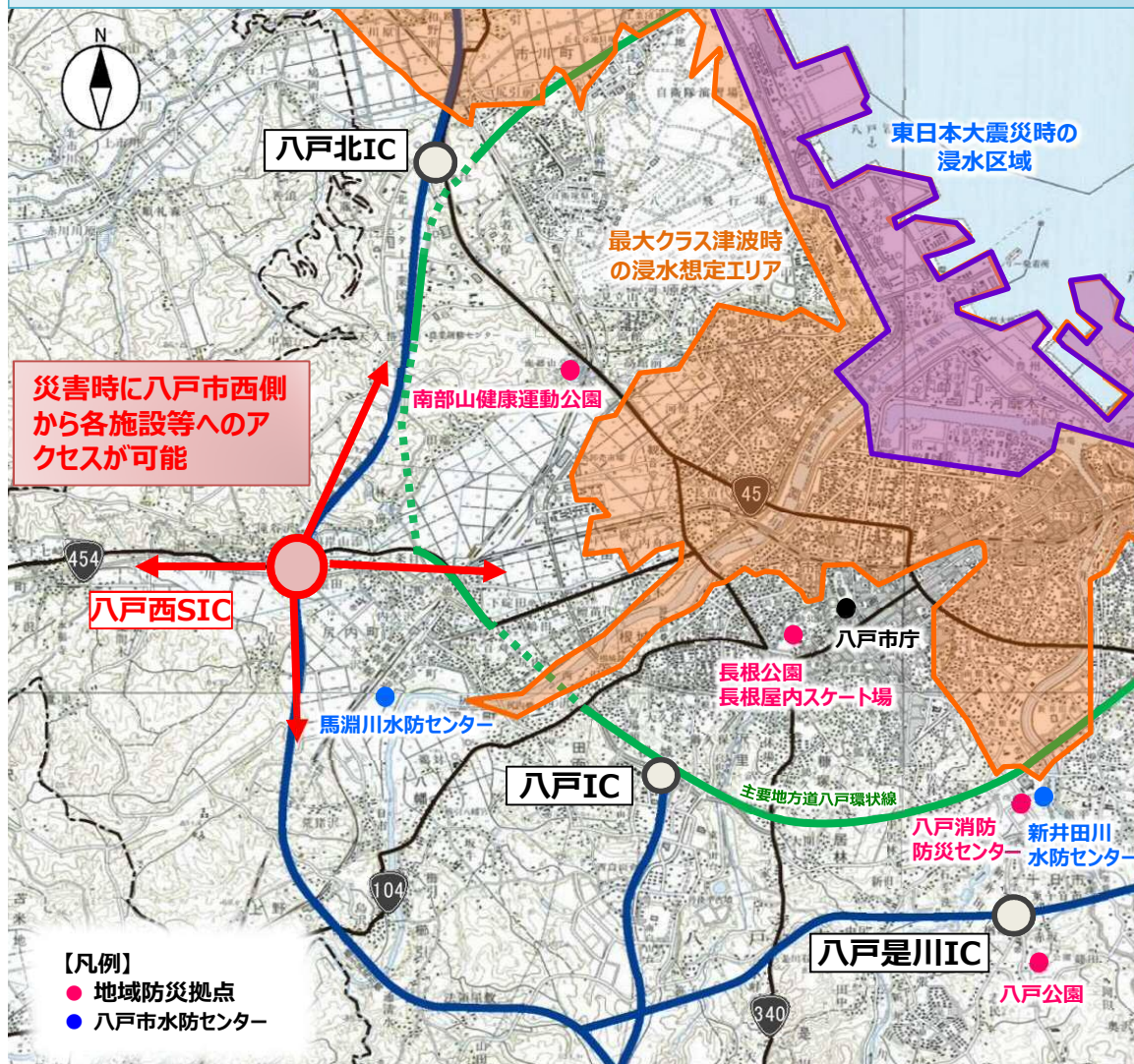
- ・上長地区からおいらせ町への出動時、八戸西SICから下田百石ICまで利用
- ・八戸赤十字病院から青森市内への搬送時、八戸西SICから七戸ICまで利用

(八戸消防本部 アンケート調査結果)



## 4 防災活動の円滑な実施

- 八戸西スマートICの整備により、八戸市の高速道路ネットワークが強化され、**災害時の救助・救援ルートの多重化が図られた。**
- 津波被害等により一般道が寸断される場合に備え、**救援物資の運搬ルートの選択肢が増えた。**



### 八戸市長根屋内スケート場（YSアリーナ八戸）

- 防災拠点施設としての機能を有する屋内スケート場として令和元年9月29日供用開始。
- 災害が発生した際に、避難者の一時滞在や災害支援物資の集積などに活用可能な地域の防災拠点としての役割を担う。

#### 【防災拠点機能】

- ・数千人の一時滞在施設
- ・災害支援物資の集積所
- ・災害復旧活動拠点
- ・備蓄倉庫



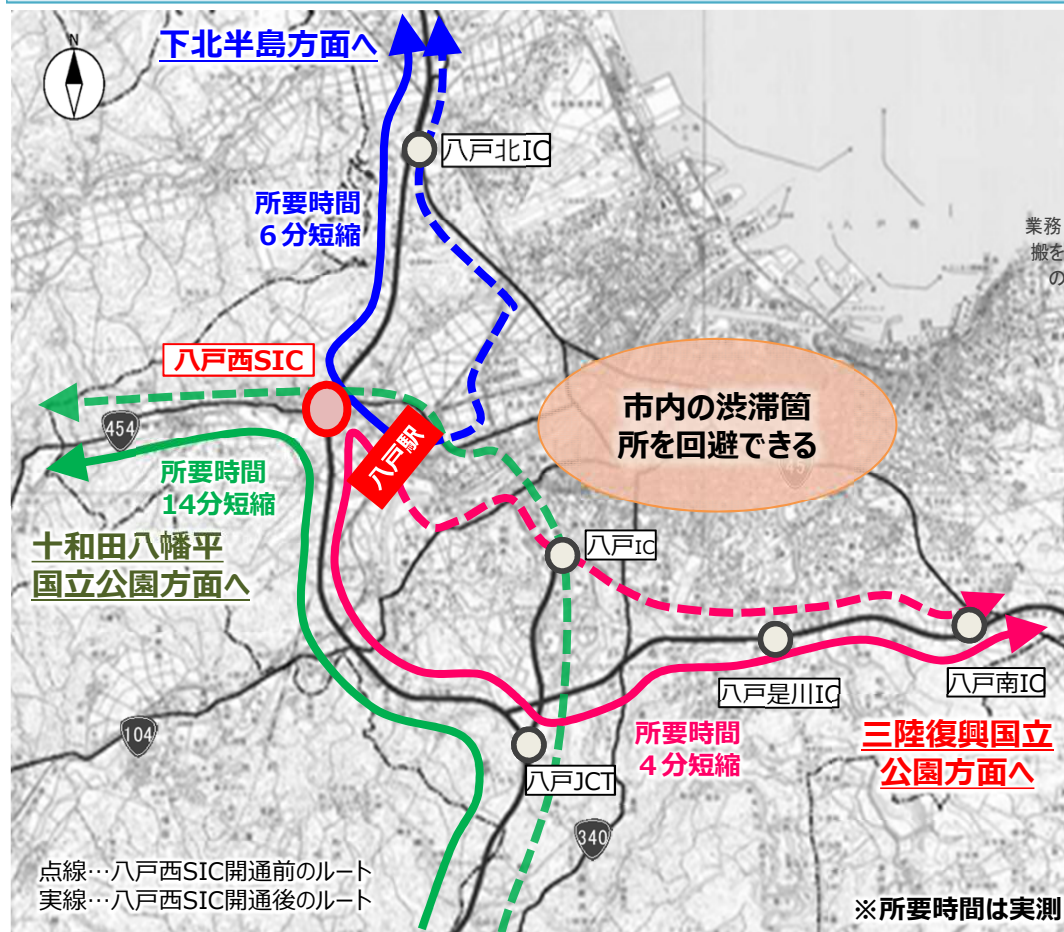
▲救援物資荷下ろし作業

▲臨港道路の津波被害状況

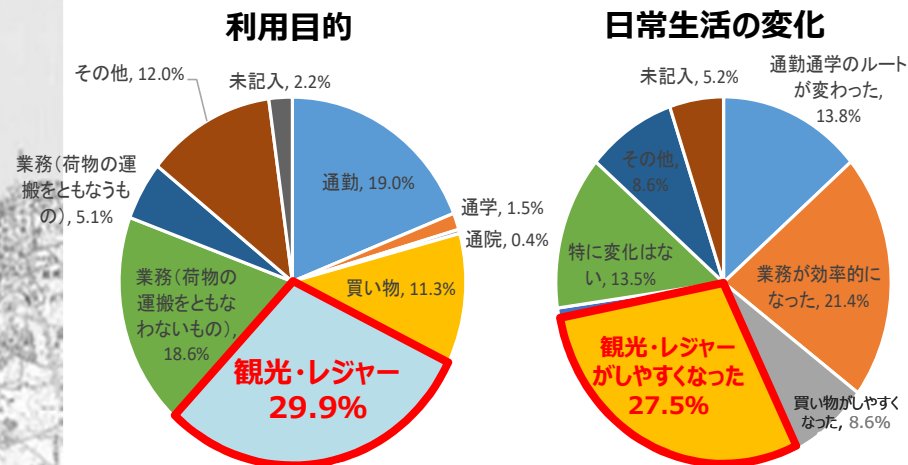


## 5 観光産業の活性化

- 利用者アンケート調査の結果、利用目的は「観光・レジャー」が約30%と最も多く、また、日常生活の変化では「観光・レジャーがしやすくなった」が約28%と最も多い。
- 三陸復興国立公園や下北半島方面へのアクセス性が向上し、観光産業の活性化とともに、三陸沿岸の復興にも貢献。（三陸復興国立公園 4 分短縮、下北半島方面 6 分短縮）
- 十和田八幡平国立公園（奥入瀬溪流、十和田湖、八甲田山）方面へのアクセス性が向上するとともに、東西間の通行の利便性が向上し、広域観光に寄与。（十和田八幡平国立公園方面14分短縮）



▼R元年利用者アンケート結果 (n=274)



### ▼利用者アンケート自由記述

- ・八戸駅から各地への移動が短縮できて良いです。
- ・混雑にあわずに移動でき、新幹線が利用しやすくなりました。
- ・SICが近くにあると行き来がしやすく便利です。ルート選びもしやすく、行動範囲も広がります。
- ・盛岡方面から下北半島方面への移動中、八戸西SICで降りられるようになり、八戸市内での飲食店利用等に便利になりました。